

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成26年11月13日 (2014.11.13)

【公表番号】特表2013-538856(P2013-538856A)

【公表日】平成25年10月17日 (2013.10.17)

【年通号数】公開・登録公報2013-057

【出願番号】特願2013-531769(P2013-531769)

【国際特許分類】

A 6 1 K 38/21 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/166 (2006.01)

A 6 1 K 31/395 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 K 31/435 (2006.01)

A 6 1 K 31/44 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 37/66 G

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 K 31/166

A 6 1 K 31/395

A 6 1 K 39/395 T

A 6 1 K 39/395 E

A 6 1 K 31/435

A 6 1 K 31/44

A 6 1 P 43/00 1 1 7

【手続補正書】

【提出日】平成26年9月25日 (2014.9.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

対象におけるメラノーマの治療のための医薬組成物であって、R a s - R a f - M E K - E R K 経路におけるプロテインキナーゼの阻害剤、及びインターフェロンを含む、前記医薬組成物。

【請求項 2】

前記阻害剤が、M E K 阻害剤である、請求項 1 記載の医薬組成物。

【請求項 3】

前記阻害剤が、N - [ ( 2 R ) - 2 , 3 - ジヒドロキシプロボキシ ] - 3 , 4 - ジフルオロ - 2 - [ ( 2 - フルオロ - 4 - ヨード - フェニル ) アミノ ] ベンズアミドである、請求項 1 記載の医薬組成物。

【請求項 4】

前記インターフェロン が、インターフェロン 1 aである、請求項 1 記載の医薬組成物。

【請求項 5】

前記インターフェロン 1 aが、ペグ化インターフェロン 1 aである、請求項 4 記載の医薬組成物。

【請求項 6】

前記インターフェロン が、インターフェロン 1 bである、請求項 1 記載の医薬組成物。

【請求項 7】

前記インターフェロン 1 aが、ペグ化インターフェロン 1 bである、請求項 6 記載の医薬組成物。

【請求項 8】

対象におけるメラノーマの治療のための医薬組成物であって、アルキル化薬、及びインターフェロン を含む、前記医薬組成物。

【請求項 9】

前記アルキル化薬が、4 - メチル - 5 - オキソ - 2 , 3 , 4 , 6 , 8 - ペンタザピシクロ [ 4 . 3 . 0 ] ノナ - 2 , 7 , 9 - トリエン - 9 - カルボキサミドである、請求項 8 記載の医薬組成物。

【請求項 10】

前記インターフェロン が、インターフェロン 1 aである、請求項 8 記載の医薬組成物。

【請求項 11】

前記インターフェロン 1 aが、ペグ化インターフェロン 1 aである、請求項 10 記載の医薬組成物。

【請求項 12】

前記インターフェロン が、インターフェロン 1 bである、請求項 8 記載の医薬組成物。

【請求項 13】

前記インターフェロン 1 aが、ペグ化インターフェロン 1 bである、請求項 12 記載の医薬組成物。

【請求項 14】

対象におけるメラノーマの治療のための医薬組成物であって、インターフェロン を含む、前記医薬組成物。

【請求項 15】

前記インターフェロン が、インターフェロン 1 aである、請求項 14 記載の医薬組成物。

【請求項 16】

前記インターフェロン 1 aが、ペグ化インターフェロン 1 aである、請求項 15 記載の医薬組成物。

【請求項 17】

前記インターフェロン が、インターフェロン 1 bである、請求項 14 記載の医薬組成物。

【請求項 18】

前記インターフェロン 1 aが、ペグ化インターフェロン 1 bである、請求項 17 記載の医薬組成物。